

6-5 都市計画道路の見直し

都市計画道路を見直すに当たり、必要に応じて以下のような分析を行うことが考えられる。

- (1)OD 表に基づく主要断面交通量の把握
- (2)道路の混雑状況の把握

(1) OD 表に基づく主要断面交通量の把握

①分析の視点

現況のOD表に基づく交通量を分析することで、交通量の多い区間を明らかにし、問題点を把握する。

②方法

ゾーン間代表交通手段別トリップ数を集計する。主要断面を定義し、断面を通過するゾーン間交通量を合計することで、断面別の交通量を算出する。

主要断面は、都心部断面や市境に設定することが考えられる。算出された断面別交通量と都市計画道路網を比較し、見直しの必要がある地域を把握する。

③分析に必要なデータ

- ・ 都市圏PT調査もしくは特定目的PT調査（全域小サンプル型）

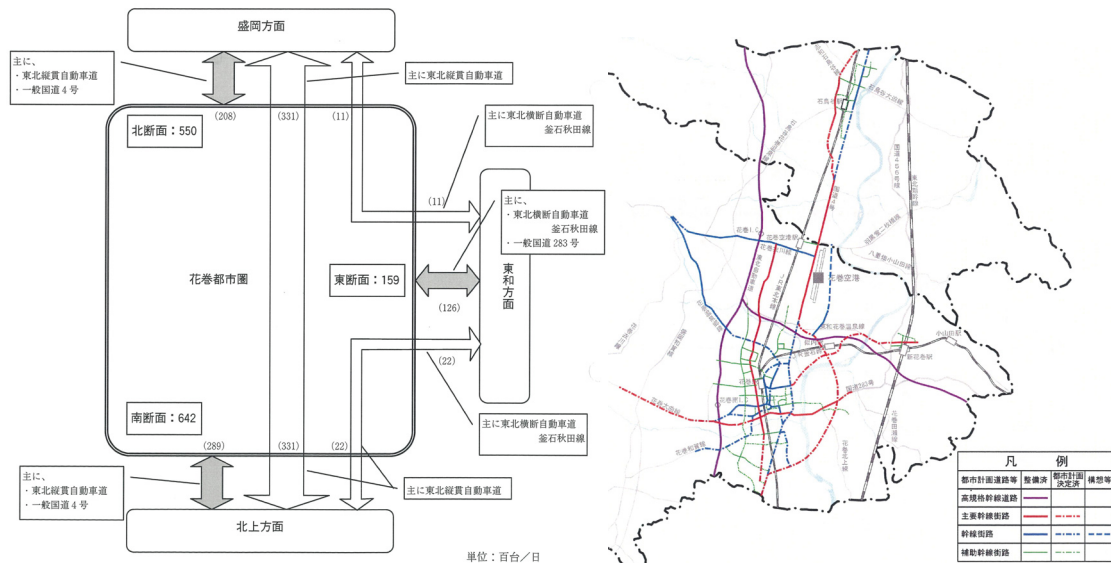


図 6-14 現況の交通量と都市計画道路網の比較(イメージ図)

(2) 道路の混雑状況の把握

①分析の視点

道路の区間別混雑度の状況、断面別混雑度の状況を把握し、地域別の発生・集中量と比較する。発生・集中交通量が増加し、混雑度が高い地域は、道路の整備の必要性が高いと想定される。

②方法

道路交通センサス一般交通量調査の結果から得られたリンク別の道路混雑度を図示する。P T調査結果よりゾーン別代表交通手段発生量を集計し、ゾーン別自動車利用発生量を図示する。作成された2つの図を比較することで、道路交通容量が不足している地域を把握する。

③分析に必要なデータ

- ・ 都市圏P T調査もしくは特定目的P T調査（特定地域限定型、全域小サンプル型）
- ・ 道路交通センサス一般交通量調査

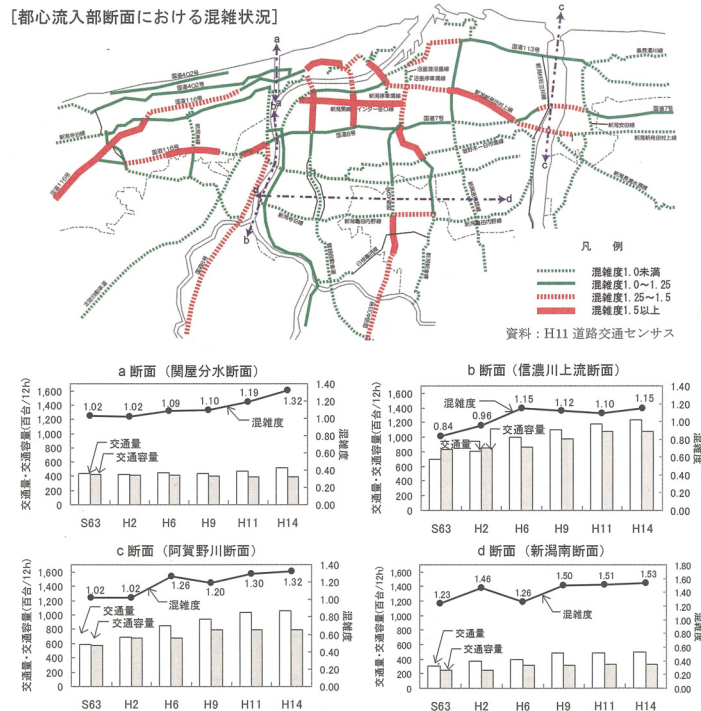


図 6-15 渋滞している箇所(イメージ図)

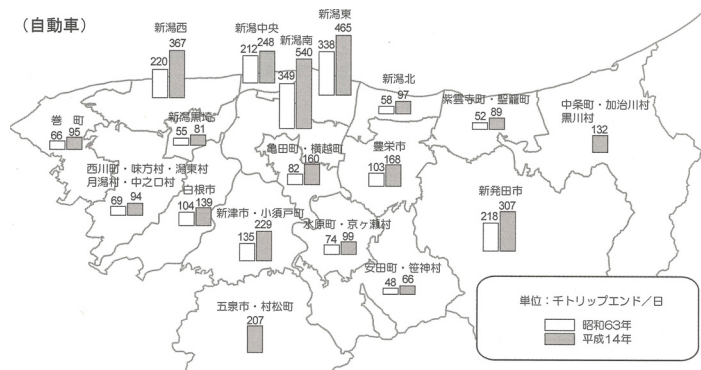


図 6-16 自動車の発生・集中交通量分布(イメージ図)